

令和6年度
(令和5年 12 月～令和 6年 11 月)

環境経営レポート

令和7年 3 月 30日

株式会社 九州総合管理

目次

1. 組織の概要	…	2
2. 認証・登録の対象組織・活動 E A 2 1 実施体制	…	2～3
3. 環境経営方針	…	4
4. 環境経営目標	…	5
5. 環境経営目標とその実績	…	6
6. 環境活動計画及びその取組結果と評価並びに次年度の取組内容	…	7～10
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	…	11
8. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示	…	11

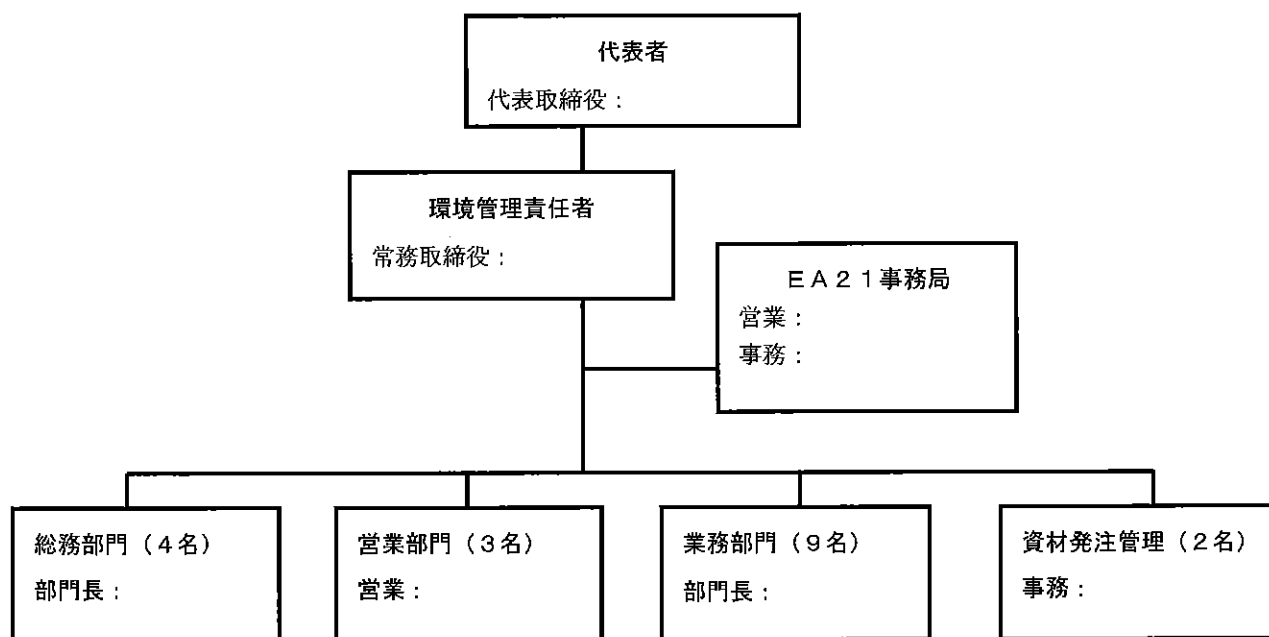
1. 組織の概要

(1)事業所名 代表者氏名	株式会社 九州総合管理 代表取締役 後藤 元生				
(2)所在地	本 社 〒814-0133 福岡県福岡市城南区七隈 7 丁目 24 番 22 号				
(3)環境管理責任者 担当者	常務取締役 中村 政行 営業部 課長 四井 寛之				
(4)事業の内容	ビルメンテナンス業				
(5)事業の規模	売上額: 598.7 百万円				
			管理物件		
	単位	本 社	清掃員	設備管理	警備員
従業員数	人	16	29	2	4
床面積	m ²	168			
(6)事業年度	12 月 1 日～翌 11 月 30 日				
(7)法人設立年月日	昭和 63 年 6 月 1 日				
(8)資本金	1000 万円				

2. 認証・登録の対象組織・活動

(1)事業所名 所在地	株式会社 九州総合管理 〒814-0133 福岡県福岡市城南区七隈 7 丁目 24 番 22 号
(2)関連事業所	本社
(3)活動	全組織全活動
(4)対象外事業所	なし

E A 2 1 実施体制



役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・経営における課題とチャンスを確認にする ・環境方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者、E A 2 1 事務局員を任命する ・環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する ・E A 2 1 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・E A 2 1 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。 ・環境目標、環境活動計画を作成する。 ・3 ヶ月に1 回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を確認する。 ・上記の結果を代表者に報告する。
E A 2 1 事務局	・環境管理責任者を補佐し、E A 2 1 文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門責任者	・環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ・環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・自部門に関連する法規制等を順守する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

当社は、ビルメンテナンス業務を通じて、環境負荷の低減に努めるとともに、環境経営方針に基づいて地球環境に配慮して行動し、環境経営の継続的改善を実施します。

1. 次の事項に、重点的に取り組みます。

- (1) 事業活動における二酸化炭素排出量の削減
- (2) 廃棄物の把握および削減
- (3) 水の削減
- (4) 化学物質使用量の適量管理
- (5) 自社の環境に配慮した事業活動の実行
- (6) 顧客ニーズの多様化への対応

2. 関係する環境関連法規を遵守します。

3. 環境経営方針は全従業員に周知する。

制定日：平成 23 年 4 月 1 日

改定日：令和 6 年 4 月 20 日

株式会社 九州総合管理

代表取締役 後藤 元生

4. 環境経営目標

環境目標		単位	基準値	目標				
			令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
			R3 年 12 月～ R4 年 11 月	R4 年 12 月～ R5 年 11 月	R5 年 12 月～ R6 年 11 月	R6 年 12 月～ R7 年 11 月	R7 年 12 月～ R8 年 11 月	
1	二酸化炭素排出量の削減	(Kg-CO ₂)	36,400	36,036 令和4年実績(-1%)	35,672 令和4年実績(-2%)	35,308 令和4年実績(-3%)	34,944 令和4年実績(-4%)	
	1-1 電気使用量の削減	kwh	8,056	7,975.4 令和4年実績(-1%)	7,894.8 令和4年実績(-2%)	7,814.3 令和4年実績(-3%)	7,773.1 令和4年実績(-4%)	
	1-2 ガソリン使用量の削減	ℓ	8,097	8,016.0 令和4年実績(-1%)	7,935.0 令和4年実績(-2%)	7,854.0 令和4年実績(-3%)	7,773.1 令和4年実績(-4%)	
	1-3 軽油使用量の削減	ℓ	5,209	5,156.9 令和4年実績(-1%)	5,104.8 令和4年実績(-2%)	5,052.7 令和4年実績(-3%)	5,000.6 令和4年実績(-4%)	
	1-4 灯油使用量の削減	ℓ	165.0	163.4 令和4年実績(-1%)	161.7 令和4年実績(-2%)	160.1 令和4年実績(-3%)	158.4 令和4年実績(-4%)	
	1-5 都市ガス使用量の削減	m ³	19.00	18.81 令和4年実績(-1%)	18.62 令和4年実績(-2%)	18.43 令和4年実績(-3%)	18.24 令和4年実績(-4%)	
2	一般廃棄物排出量の把握及び削減	kg	907.5	898.4 令和4年実績(-1%)	889.4 令和4年実績(-2%)	880.3 令和4年実績(-3%)	871.2 令和4年実績(-4%)	
3	水使用量の削減	m ³	124.0	122.8 令和4年実績(-1%)	121.5 令和4年実績(-2%)	120.3 令和4年実績(-3%)	119.0 令和4年実績(-4%)	
4	化学物質使用量の適量管理	適量管理	適量管理	適量管理	適量管理	適量管理	適量管理	
5	自社の環境に配慮した事業活動の実行	件	年間 2 件以上	年間 2 件以上	年間 2 件以上	年間 2 件以上	年間 2 件以上	
6	顧客ニーズの多様化への対応	件	年間 2 件以上	年間 2 件以上	年間 2 件以上	年間 2 件以上	年間 2 件以上	

化学物質使用量は 2-アミノエタノールとポリオキシエチレンアルキルエーテルを足した使用量で実績や目標を記入しています。

購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.462kg-CO₂/kWh(九州電力 2022 年度 調整後排出係数)を使用しています。

5. 環境経営目標とその実績

環境目標	目標 実績	単 位	R5年度	R6年度	次期目標 (R7年度)	評価 達成率
二酸化炭素排出 量の削減	目標	(Kg-CO ₂)	36,036	35,672	35,308	○
	実績	総量 (Kg-CO ₂)	33,207	33,417	令和4年実績(-3%)	106.3%
廃棄物排出量の 把握及び削減	目標	(Kg)	898.4	889.4	880.3	○
	実績	総量(Kg)	892.1	909.8	令和4年実績(-3%)	97.7%
水使用量の削減	目標	(m ³)	122.8	121.5	120.3	○
	実績	総量(m ³)	102.0	137.0	令和4年実績(-3%)	87.2%
化学物質使用量 の適量管理	目標	Kg	適量管理	適量管理	適量管理	○
	実績	総量(Kg)	21.33	35.12		
自社の環境に配 慮した事業活動 の実行	目標	件	年間2件以上	年間2件以上	年間2件以上	○
	実績	総量(件)	3件	6件		300%
顧客ニーズの 多様化への対応	目標	件	年間2件以上	年間2件以上	年間2件以上	○
	実績	総量(件)	6件	5件		250%

・二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.462Kg-CO₂/kWh(九州電力 2022 年度調整後排出係数)を使用。

・削減目標の達成率 $\langle (目標 - 実績) / 目標 \rangle + 1 \times 100\%$

・増加目標の達成率 $\langle (実績 - 目標) / 目標 \rangle + 1 \times 100\%$

6. 環境活動計画及びその取組結果と評価並びに次年度の取組内容

(1)二酸化炭素排出量の削減

取組対象	達成 状況	活動項目	実施 状況	評価(今後の取組方向も含む)
電気使用量の 削 減 (令和4年度-2%)	×	・エアコンの設定温度 を決め、実行する 【冷房 28℃暖房 20℃】	×	(今年度)エアコンの設定温度を決め実行して きたたが、1～3月と7、8月の急激な温度の変 動により、設定温度を変更して冷暖房を入れて しまう日があった。活動項目が実施できない 月があり、削減目標達成することができなかつ た。 【年間目標】7,894.8kwh 【年間実績】8,045.0kwh (次年度)次年度は達成できるよう努力してい きたい。
ガス使用量の 削 減 (令和4年度-2%)	×	・ガス給湯器を低めの 設定温度で使用する。	○	(今年度)ガス給湯器を低めの設定温度で使用 することが年間を通して実行できたが、冬場に 使用頻度が増加し、その結果削減目標を達成 することができなかった。 【年間目標】18.62 m ³ 【年間実績】24.00 m ³ (次年度)次年度は達成できるよう冬場の使用 頻度を見直していきたい。
灯油使用量の 削 減 (令和4年度-2%)	×	・ウォームビズの導入	○	(今年度)ウォームビズをしっかりと実践できてい る。膝掛け等を利用することで灯油使用量の削 減に努めている。12月からの急激な冷え込み により、削減目標達成には至らなかった。 【年間目標】161.7ℓ 【年間実績】216.0ℓ (次年度)次年度は達成できるよう努力してい きたい。

ガソリン使用量の削減 (令和4年度-2%)	○	・エコドライブ手順を決め実行する	○	(今年度)エコドライブに関しては手順書(10カ条)を各車に配布し、実行の徹底を行なっている。第3四半期以外は目標を達成することができ、年間を通して目標を達成することができた。 【年間目標】7,935.0ℓ 【年間実績】7,198.6ℓ (次年度)目標達成が継続できるようエコドライブをさらに周知徹底していきたい。
軽油使用量の削減 (令和4年度-2%)	○	・エコドライブ手順を決め実行する	○	(今年度)エコドライブに関しては手順書(10カ条)を各車に配布し、実行の徹底を行なっている。すべての四半期で目標を達成することができたので年間目標も達成することができた。 【年間目標】5,104.8ℓ 【年間実績】4,809.9ℓ (次年度)目標達成が継続できるようエコドライブを周知徹底していきたい。

(2)廃棄物排出量の把握および削減

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
一般廃棄物排出量の削減 (令和4年度-2%)	×	・古紙、段ボール、裏紙等のリサイクル徹底	○	(今年度)古紙、段ボールゴミのリサイクルは徹底されている。また、コピー用紙の裏紙の再利用も実行することができた。第2、3四半は目標達成することができず、また、年間目標も達成することができなかった。 【年間目標】889.4 kg 【年間実績】909.8 kg (次年度)廃棄物排出量の削減の意識をさらに強化して目標を達成していきたい。

(3) 水使用量の削減

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
水道使用量の削減 (令和4年度-2%)	○	・節水呼びかけの表示 ・洗濯、洗車等において節水の励行	○ ○	(今年度)節水呼びかけの表示が水道付近の目にしやすいところに表示されている。また、古くなった表示は新しいものに貼り換え等も実施した。 また、清掃で使用したタオル等の洗濯や洗車においても水を貯めながら行ない、節水に努めた。 2月にトイレの不具合があり、それに気づくのが遅かったため使用量が大幅に増えてしまった。結果として年間目標を達成することができなかった。 【年間目標】121.5ℓ 【年間実績】137.0ℓ (次年度)水道関係の不具合がないかのチェック等も行なっていきたい。

(4) 化学物質使用量の適量管理

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
薬剤使用量の適量管理	○	・面積に応じて使用量を算出、管理する。	○	(今年度)使用量の管理を徹底できている。今年から使用を開始した薬剤の導入については、安全データシート(SDS)を使用して使用方法について情報の共有を周知徹底した。 また、アルカリイオン水を自社で生成することにより薬剤の発注数が削減できている。 さらに、メラミンスポンジ等を使用することで薬剤の使用削減にも努めている。 【年間目標】適量管理 【年間実績】適量管理

				(次年度)薬剤の適量使用、管理はもちろん継続、徹底していきたい。今年環境配慮型製品を試しに使用してみたりしたが、来年はさらに環境に配慮した製品の導入、検討を実施いきたい。
--	--	--	--	---

(5) 自社の環境に配慮した事業活動の実行

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
自社の環境に配慮した事業活動の提案・実行	○	・太陽光発電維持管理業務を受注する。	○	(今年度)太陽光発電維持管理業務において年間6件の仕事を施工した。 【年間目標】2件以上 【年間実績】6件 (次年度)今後も自社の環境に配慮したサービスとして確実に受注できるように努めていきたい。

(6) 顧客ニーズの多様化への対応

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
顧客ニーズの多様化に対応した事業活動の提案・実行	○	・外壁タイル洗浄等の大規模改修工事を受注する。 ・外壁タイル洗浄等の新築工事を受注する。	○ ×	(今年度)外壁タイル洗浄等の大規模改修工事を5件受注することができた。 しかし、外壁タイル洗浄等の新築工事の受注には至らなかった。 【年間目標】2件以上 【年間実績】6件 (次年度)今後も顧客のニーズの多様化に対応したサービスとして確実に受注できるよう努めていきたい。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において関係する環境関連法規は以下のとおりである。

適用される法規制等	遵守状況
建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル管法)	○
化学物質排出把握管理促進法(化管法)	○
グリーン購入法	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	○
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	○
使用済自動車の再資源化に関する法律(自動車リサイクル法)	○

令和6年12月に上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示

前回は導入後、初めて中長期目標を見直して再スタートとなり、今年はその2年目の年となりました。
トイレの不具合による使用量の増加などイレギュラーがありましたが、概ね良い結果で終えることができました。

小さいところではまだまだ課題はありますが、大まかなところではエコアクションの取組への意識が高まっていると感じます。

今後もエコアクション導入から行なっている取組を継続するのはもちろんですが、時代やニーズに即した取組を検討、導入しながらエコアクション21の認証が更に意義のあるものになるよう取り組んでいきたいと考えています。